

## 令和5年度：iDA健康保険組合事業概要

- ☆健診受診率アップにつなぐ健保公式LINE活用による広報強化
- ☆fitbitとフォーミュラー食を選択できるICT活用の保健指導の提供
- ☆アプリを活用した複合的な生活習慣改善・コンソーシアム事業の展開
- ☆OTC薬品の推奨による薬剤給付の抑制と市販薬購入の利便性向上
- ☆重症化予防カウンセリングと歯科検診導入による健康管理の充実

### 保険料率

一般保険料率      88.44/1,000

再掲      (特定保険料率 39.60/1,000)

調整保険料率      1.56/1,000

介護保険料率      15/1,000

- ・一般勘定収入支出予算額      16億7,876万円
- ・被保険者一人当り      256,310円

iDA健康保険組合の令和5年度予算が、承認されました。

一般勘定の総予算は、対前年比3億1千534万円増の16億7,876万円となり対前年比23.13%増の予算規模になりました。

これは、対前年度比900名増の被保険者数増員による財政規模の拡大となったことが主な要因です。

対して、令和5年度の義務的負担である前期高齢者納付金及び後期高齢者支援金は、対前年度比で238,799千円の増加となり、重い財政負担率となりました。

後期高齢者支援金の増加は、財政規模拡大に伴うものであり、前期高齢者納付金を上げているのは、高齢者加入率が低い体質上、令和3年度の前期高齢者の一人当たり医療費が一過的な増加が見られたことと相俟って確定前期高齢者納付金額の調整等が深く影響した、一過的な負担増の波と考えられます。

政府では全世代型社会保障改革の一環として前期高齢者納付金は、複数年の平均給付費による計算の導入及び報酬水準に応じた調整に変わることが決定しました。

当健保の加入員の形態から判じて、義務的負担の激変緩和や負担能力を加味した改革となり朗報と言えます。

財政運営上好材料としての改革が、今後続くことを期待するものです。

なお、4月より少子化対策として出産育児一時金は、現行42万円から50万円が施行されますが、付加給付制度の3万円は継続しますので53万円の総給付額となります。

さて、令和5年度予算は、医療費支出は横ばい傾向ながら、以上の様な拠出金が増加傾向を呈して参りましたが、加入員の皆さまの健康づくりと予防を重視する保健事業の充実と効率性を図るものを提供します。

これにより、予算配分における保健事業費（所要財源率7.48%）で、総額129,899千円となりました。

特定保健指導は、昨年に引き続きICTを活用した保健指導にfitbit 或いはフォーミュラー食を選択できるものを提供し、健保公式LINE導入により指導率のアップを図ります。

厚労省から令和4年度に採択されたコンソーシアム事業の「アプリを活用した総合的な食習慣・運動習慣の改善と歩数管理」は、今年度も素敵なプレゼントがもらえるイベント展開しますので、多くの皆さまの参加をお願いします。

併せて糖尿病重症化予防及び二次健診受診勧奨を施行して参ります。

歯周病対策として、歯科医師による出張歯科健診を提供し歯と口の健康を推進します。

メンタル対策にはチャットボットサービスを付加した相談を提供していますが、昨年度より利用件数は、大きく伸びておりますが、引き続き必要な方が気軽に利用できる相談窓口のあり方を目指し健保公式LINEを付加した広報を進めて行きます。

設立から5年目を迎え、財政状況は前年度末準備金保有率が254.02%、年度末準備金保有率は264.75%と安定したものとなって参りました。

続いて、介護勘定に目を転じますと、令和5年度介護納付金104,270千円と対前年比70,419千円の増に対し、第2号被保険者数が対前年比で400人増の2,000人と増加していますが、繰越金を計上し令和5年度の介護勘定設定料率を15%の据置きとします。

本年度末準備金保有率においては、1055.50%と見込まれます。

最後に新型コロナも感染類型が5月に緩和される予定と、社会に明るい兆しが出て参りましたが、引き続き健康に留意され、定期的な健康診断の受診を心がけていただくようお願い申し上げます。

併せて、事業運営へのご理解とご協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

iDA 健康保険組合：常務理事 島田 弘幸